

毎月一回十五日發行（定價一部五錢一年郵稅共五十錢）



編輯所 印刷所 發行所 和清山香 市川野 縣田上 校學門專 會原市曲 所刷印 所刷印

### 名簿の検討

篤之

千曲會員名簿が配付されてから五ヶ月餘にもなる今日、名簿の検討も面映い話だが春の一日を費やして纏めたこの書状を此儘反占にするのも勿体ないから、時報の一隅にでも載せてもらつて志ある人に読んで貰ひたいと思ひ立つたのである。月日の経つのは早いものだ。母校も最う二十五回の卒業生を生み出さんと居る。人数にして二十人になんなんとする大世帯となつた千曲會にも、そろそろ歴史が出来てもよい頃だ。

千曲會員名簿を點検して、その活動状況を精査すると時代の流れが、自然に湧き出て、興味深々たるものがある。私は製絲科出だから、先づ製絲部門からその職業を區分して見た。  
製絲科出の千曲會員は昨年の二十四回迄で七三一名、内物故者が六一名となつて居る。五十歳にも満たぬ少壯氣鋭の會員が青雲の望みを抱きながら他界せられた事を衷心から惜しむものである。名簿を開いて先づ感れしく感ずることは、失職者及び未就職會員即ち無職者の少ないことである。これは學校當局の努力の存するところではあるが、會員同志相互的にその會員の求職に勉める吾が校獨特の美風によるものであるからである。  
無職者の分布を見るに各年次均等的であつて、他の學校卒業生の様に年次の新しいものに失職者のないことを慶ぶるのである。然く之れを見るに卒業年次の新しい人達の間には入業者及び應召者があるし、古い人達のはその多くが歸農した

者及び第一次の活動を終へて第二次の活動を得んと待期しつつある人達である様に思はれる。勤務場所が書かれてない人の中にも現在立派に適當の職に就いて活動して居られる人達も見つけられる。かく詮じつめると實際の失職者は六六名と算せられる無職者中の三〇名内外ではあるまいかと思はれる。實に製絲部門全會員の四〇%未滿である。  
就職先の最も多いのは製絲會社、製絲工場及び組合製絲である。以下順を追つてその就職關係を列記して考察を加へて見たいと思ふ。

#### 一、製絲會社、製絲工場及び組合製絲

二二五名 三一%弱

- その内課
- 片倉製絲 五一名
- 郡是製絲 二三名
- 鐘紡製絲 一六名
- 組合製絲 一七名
- 其他 一八名
- 合計 二二五名

これによつて見ると三大會社に職を奉ずる者が、約半數を占めて居る。新興組合製絲の一七名はその少きに驚くのであるが、絲聯關係の職員は製絲關係團體の方に入れたから、實際は相當數に上つて居るのである。  
早い卒業生の中には重役の椅子に納つて部下を頭使して居る者又は一城を預つてその職責を盡して居る者もある。若し人達の間には小遣にも満たない給料に甘んじて居る者もある。この分佈から見て、將來は群小製絲が徐々に淘汰されて、大資本主義工場に合併される徵が歴然と現はれて見える。これに對抗して擡頭した組合製絲の勃興は

層一層の努力が期待される。元來母校の方針として實社會に働く者を養成すると言ふ立場から、工場従業者の多いのは勿論であるが工場従業者の勞苦を多しし、現在多年の功績によつて好位階を占めて居る先輩諸兄の倍多幸ならむことを祈る次第である。

#### 二、官廳關係 一六〇名 二一%強

官廳關係者が第二位を占むると言ふ事は千曲會として些か奇異の感がある。試みに昭和二、三年の頃の名簿を繰つて見るがよい。官廳關係者は十指に満たない者であつた。農林省が召集した、府縣技術官會議にても上田出は製絲科出身者を合しても僅かに十數名で、發言する者も無い位であつたこの頃の事を想起して轉々、感慨に絶えな

#### 三、府縣關係 五五名

府縣關係 九五名

其他 九名

合計 一六〇名

その他は警察官吏、税關吏及び場邊の蠶業取締所職員がある。この近來の盛況は次の事情に起因するイ、學校當局が方針を革新し、官界に卒業生の分布を志したこと  
ロ、製絲業法、蕪檢定所規程及び産蕪處理法の發布に連れて製絲關係職員の大需要があつたこと  
ハ、官界に於ける先輩が、主要位置を占むるに至り、その部下を同窓に求むるに至つたこと  
ニ、右三つの原因によるものである。各府縣に母校出身の官吏が居ないことは、万事に不都合勝ちであつた。それで母校が方針を革新して極力同窓官吏の分布を計つたものであつて遅延しながらよい着目であつた。

#### 三、紡織關係 三六名 五%

紡織關係は化學工業關係と共に母校の特色である。現在紡織科出身者によつて埋められつゝある椅子であるが、その設置以前に於いて紡織關係に進出すべき途を拓いた母校當局の活眼を推賞する。

#### 四、生絲輸出商關係 三二名

生絲輸出商關係 二七名

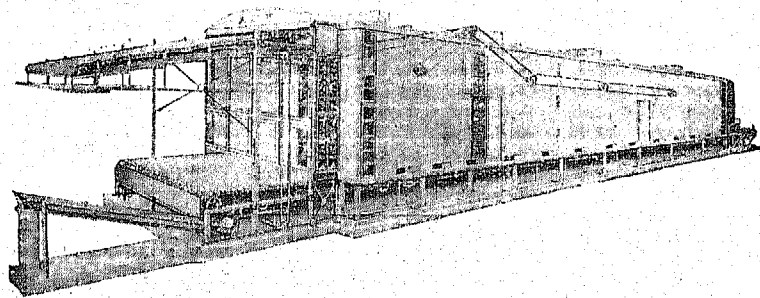
諸學校 二七名

内研學中の者二名、小學校教育に従事する者二名は異色とする。

蠶絲關係團體 三一名

七、製絲器械製作所及器械商 一三名  
八、在外 一三名 中一名は移住者  
九、化學工業關係 八名  
一〇、自營 三八名  
自營の大多數は父祖の業を繼ぐ製絲業であるが、醸造業、郵便局長、藥種商、湯泉業、洋食店、専門の學業を治めた者は、職業の何たるを問はず活動し得るものたることを示す證據である。  
一一、無職 六六名  
これは前述の通り歸農者及び待機者である。  
一二、其他 一八名  
この中には世相の多岐を物語る數奇の運命をもちたされて居る。硫酸會社、毛皮商會、糖工業所、自動車會社、生命保險會社、法律事務所、呉服店、勤

## 現代乾繭機界ノ王座 大和式自動輸送乾繭機



二五九八年代表型

【各種型錄贈呈】

製作發賣元 株式會社 大和三光商會  
東京京橋區京橋三丁目二番地 電話京橋(56)五三二〇番

營業課目  
特許大和式自動輸送乾繭機  
特許大和式自動人絹乾燥機  
特許帶川三光式乾燥機  
特許やまや式ホーロー乾燥機  
特許サンコ式濾過淨水器  
特許サンコ式廢湯吸器  
特許サンコ式高壓ポンプ  
特許サンコ式トランプ

業銀行、市役所、郵便局、自由學園、若菜會館など、實に吾が同窓の活動範圍の廣汎なるものを示すものである。  
一三、不明 四名  
その健在を祈る次第である。  
一四、死亡 六一名  
若くして鬼籍に入られた同窓を哀悼して止まないものである。  
以上、述べ來つて見ると、吾が千曲會員の動向が如何に眞實なものであるか、観られるのである。學生時代信濃の高原に鍛へられた健康なる身体には必ずや、健全なる精神が宿つて居るのである。かく言ふ筆者も、目下は失職者であるが卷土重來、必ず働き場所を求めて世間に雄飛したいと待機中である。七三一名の吾が製絲部門會員より、研鑽自重よく非常時日本の一員として擡まざる奮闘を望んで止まない次第である。

再び地球一周の旅に

白山丸にて 奥洲 生

一度は世界を一周してと思ひつゝ、研究室や工場の中で汗まみれにやつて居たが其機會は來て恰度十年前に地球の一周をやつて世界一周の一部分を済ませた自分は今又コースを變へて地球の一周の旅に出かける機會を得た事を喜ぶ。

此前に横濱を立つときはダラー汽船の船であつたし横濱からでもあつたので見送つて呉れた人は五人しかなかつた。淋しい旅立ちではあつたが張切つて居たのでそうさうさくなく結構と思つた。今度は百餘人の大勢に見送られて神戸を立つたが常に東に西に立ち歩いて四眺とは同じ所を眺めた事無い。然も一月に八晩位は寢臺車で暮す様な生活を過去六ヶ年につけて來て立つ日の眞近迄其の通りであつた自分には遠くへ旅立つと云ふ氣分は更に起らなかつた。今こうして三、四日後には印度洋に入らうと云ふのに更に旅行と云ふ感が湧かない程に癡痺して終つた自分に驚いて居る始末。

門司で七、八人の出迎へを受け下關大吉樓に宿をとつて一泊此處迄同行して來た上の小供二人を神戸に歸らして四月二日正午祖國をはなれた。上海へは四日早朝着出迎への人に連れられて戦跡を一巡見る。戦争をするからには必ず勝たねば駄目だと思つた。戦敗と云ふものが如何にみぢめであるかまざうと見せつけられた。更に又破壊の後の再建は吾人の重責であらうと思ふと中支、北支にかけての廣大な地域に吾々やらねばならぬ仕事は山々と積み上げられてある様な氣がした。人類愛の爲に平和な東洋の生活の維持の爲に指導者としての我帝國の國民は層々の熱誠を振ねねばならぬ。

五日朝七時上海發揚子江を出たがどこ迄も濁海で河と云ふ感じはしない。只見渡す限り水なので河だと思ふ位。午後二時過から漸く海の色に近くなる。上海で鹽見君、佐瀬君(鐘紡)に遭つて一時間ばかり話したが同窓と云ふものは何時何處でもよいものである。台灣海峡も過ぎて八日朝香港着、茲では支那住民が不穩だから町に知人のない者は下船せぬ方よからんと注意で船から町を見て暮す。茲迄來ると漁船の格好が日本の漁船とすつかり同じで漕ぎ方も同様なので驚いた。矢張り此方から渡つて來たものらしい。

裸の山に日本から移したと云ふ松の林を作つて居る。岩石の上にあれ丈の植林をやるのは随分と長い忍耐をやつたものと要地の經營の氣永く遠慮をやつたならぬ事を痛感する。阿片戦争で無理にとつた英領であるが今恰度我國のやつて居る事に一々文句をつける彼英國の今日を思ふて苦笑なきを得ない。人間と云ふものは勝手なものである。其團體である國家も亦勝手な事をやつて居るものがある。いくつもある。面白いのは此間に浮沈して行く所謂世の中である。茲にも矢張り敗けてはならぬの鐵則が存立して居ると思ふ。往年英國倫敦の博物館を見て之れは全く掠奪の歴史の博物館だと思つた自分は今又茲に其感概が一入深いものがある。

九日朝香港を出たが相當に霧が深い。恰度高山の頂に早朝立つて下から吹き上つて來る霧をあげるの同一感だ。船の人造は霧を大變に嫌ふ。甚だ危険だからな相な。霧を抜けてから安南の沖を走る。今十二日迄去りつづけたが明十三日正午にはシンガポールへ着く豫定である。

泥を吐く

栗 柄 超

とに角、來て呉れませんか。それから、燕支なければ哈爾濱へ案内して行つて欲しいんですけど。といふことと電話が切れた。

静かに眠る北滿の國際都市哈爾濱は中央寺院の十字架も人も馬もしつとりと夜霧に濡れて凍つてゐる。

これは小松の帽子で、この靴には狼股が入つてゐるきりなんだが、たしか上乗の持ち物だよ。さう仰言る三浦さんの足もとは何々主の命のおはき遊ばす様な防寒靴だ。何しろ北の國にお越しになるといふのでその装束も少々滋味がある。

縁談調べし。

新宮神社からゴミ／＼した頭道溝の支那町を抜け、ガードをくぐつて住吉町の水庫を訪ねた。

あれから早くも四月月を越した。三浦さんは數々の思ひ出を残して武蔵野に住はれるやうになつた。

あれから早くも四月月を越した。三浦さんは數々の思ひ出を残して武蔵野に住はれるやうになつた。

迷語

落穂 一穂

春が乳色の雲に乗つて来た。春が来て心から喜ぶ人がある。春が来て心から悲しく思ふ人がある。

北支で戦つてゐる友がある。江南で亡くなつた友がある。気の毒だ情しい事だ。わが事のやうに會ふ人毎に語る人がある。燃えたる熱い涙を惜しげもなく心の中で流しながらだまつて西の空を眺めて居る人もある。

あつちのものを冷眼してゐる人もある。他人は他人。俺は俺だ。一寸會つても忘れ難い人がある。旅で拾つたホロ苦い戀のやうな。長い間交際してゐても別れてしまへばそれ迄のやうにある。―― 嫌忌期に破鏡した夫婦者のやうに。

世は様々だ。兎も角も春なんだ。櫻が咲いてゐる。茶の花が咲いてゐる。「官吏嫌はれの春秀才利に走る」か。

人網界華かな頃蠶絲業没落の聲が津々浦々に鳴り響いた一時があつた。農村では彼方でも此方でも桑樹を抜き取るに大業であつた。抜き取つてしまつてきてどうしようと思案する体だつた。

その年は蠶繭の値が稀らしくよかつた。役人は陸稻を奨励した。農民は云はれるまゝに種子を蒔きつけた。夏になつた。早天続きだつた。陸稻は穂を出さず燃え上つてしまつた。農民は元も子もなくしてしまつた。出るものは嘆息だつた。

翌年も亦値がよかつた。農民は去年の損を今年で取り戻す意氣込みで種子を蒔きつけた。秋になつた。今年も収穫があつた。農民は喜んだ。が大切な値はバツタリ下つてゐた。一切賣り拂つても肥料代もない。夏から秋と働きつけて肥料屋へ全部持つて行かれてしまつた。出るものは今年も亦嘆息だつた。

テールファイバー全盛時代である。之さへあれば羊毛綿花問題は解決だと迄極論を吐いてゐる輩もある。

丁度人絹全盛時代に天絹が明日にも姿を消すかのやうに噂されたやうに。羊毛は羊毛。綿は綿。「スフ」は「スフ」である。

人絹に依つて或る意味に於いて天絹が光を増したやうに「スフ」に依つて羊毛、綿は著しくその存在価値を増して来た。大衆が眼の色を變へて純毛、純綿品を求むるには其の名に値れる以上に何にか他に大きな理由が無くてはならない。

製品を検査して見始めてはならない。一端を窺ふ事が出来る。技術の幼稚か整理の不良か。二割なり三割なり「スフ」を混入すればそれ丈綿なり羊毛なりを節約出来るると算数的に考へるのは大きな誤りではあるまいか。

英語排斥の聲が狼火の様になつてゐる。日本精神が怒濤の様になつてゐる。英語と日本精神とのやうな關係が存在するだらうか。

就後の守りを堅くするために〇〇日間副食に梅干と大根漬のみを強制した所がある。之を侵せば罰せられると云ふ町がある。長期抵抗を期して自轉車通學を禁止し徒歩通學せしめた學校がある。徒歩とは何か。徒に歩く事か。「時は金なり」、今日學校で習つたよ。

校長も勇退された。金子教授は亡くなられた。一抹の淋しさを感ずる。信濃路の春は浅い。

稚蠶用桑は一體硬いと軟いでは何れが適當かと言へば、硬からず軟からず、丁度良いのが丁度良いのであります。併し大體の氣持としては秋蠶には硬目のものを用ひ晚秋蠶には軟目のものを用ひるの様にすることがよいと思ひます。この「目」といふ言葉は氣持を示すので、硬目といひ軟目といふのは、結局氣持の問題でありますから甚だ抽象的の、不確の事やうでありますけれども、之が應用に依つて實用価値を生ずるのであります。或る所て鶏卵の雌雄鑑別器を賣つて居る

のを見たことがあります。その鑑別器といふのは、長さ一尺五寸ばかりの細絲の尖端へ小さな圓錐形の金筒を吊したもので、之を卵の近くへ持つて行つて吊下げる場合、オモリが圓形を描いて動く場合は雌の卵であり、縦一文字を描く場合は雄の卵であると云ふ説明なのです。併し果して適中するか否か、卵を割つてみた處で分りませんから、之を賣る男は「論より證據、人間に就て實驗してみせれば分る。男の掌の上では一文字に描れるし、女の掌の上では圓く描れるから」といふ口上でありまして、そこで其處に居合せた人々が試してみると、成る程口上通り男がやれば一文字に描れ、女がやれば圓く廻るのです。實に不思議ではありませんが、一體これはドンナ仕掛になつて居るのでせうか？ 私は之を精神作用だと睨んだのです。と申しますのは、一文字に描れると云ふ、圓く動かないか、一文字を豫め暗示して試す人にそれを信じさせて置けば、オモリを吊下げた時、知らず識らずのうちに其の精神が手先に感じて言はれた通りに動くやうになるものなのです。だから無神経の釘へでも吊して實驗すれば風で吹かない限り、横にも縦にも、まして圓く動かない管はないもので、人間の精神作用——氣持といふものは斯くの如く微妙なもの、一寸したこともその影響する所は大いなのであります。この氣持を「目」といふので、初秋蠶には硬目、晩秋蠶には軟目と言ひ、又早蠶時には軟目、多雨時には硬目のものがよいと言ふのも、畢竟それが良いかと迷つた時に、或は一枚上、或は一枚下の葉を撰ぶといふことになるので、曖昧な言葉のやうでも、なか／＼意味深長であります。

奇抜な飼育法 育蠶法の原理には二つはないが、養蠶教師がその技術を賣込むために、殊更他より異つた奇抜の方法を宣傳する者があります。それが飼育法混亂の因となつて困る事もあります。併し中には斯業に革新を齎すべき劃期的の方法もありますので、一概に排撃する事は出来ません。……一、一回給桑の飼育法を一名善光寺と申します。それは掃立てに蠶に給桑して置いて善光寺參詣に出かけ、ユツクリ歸宅してから箱のフタを取つてみれば蠶はスツカリ眠に就いて居ると云ふからであります。又オオモ育とか乞食育とかいふ飼育法もあります。之は庭先に蠶を

放飼して、給桑後その上に紙をかけて置く方法であります。金庫育といふのは金庫型の箱の中で飼ふのであつて金庫の外は開錠がついて居り、飼育擔當者の手は開錠することが出来ないと云ふ奇抜な装置であります。

蠶絲業機構の將來 蠶の繭はその皮を利用して絲とし、中の蛹は廢物であり、之と反對に落花生は中の實を利用して皮は廢物であります。蛹利用の研究が進めば、養蠶の目的は蛹を獲ることとなり、皮はたゞ棄てるのも惜しいから絲にするに云ふことになりませう。現に桑條はバルブとなり、蠶糞からはベークライトや軍需品が出来、繭は板状、蛹は醬油や營養劑の原料となる等の研究が完成されて居りますから、蠶絲業機構の將來は如何やうに變革されるか頗る興味ある問題であります。

轉ばぬ先の杖 諺に「一利を損さんよりは一害を除くに如かず」といふ語があります。桑を作りに當つて、肥培に依り積極的に收量を増すことは勿論必要であります。又退いて病蟲災害を驅除豫防することに依り消極的に收量の減じない様な手段をとることも肝腎であります。そして「轉ばぬ先の杖」といふ諺がある通り、病蟲害にかゝつたり、凍害を受けてから善後處置をとるよりも、豫めこれを防止する手段を構はなければなりません。凍害の危険を豫知しながら、運を天に任せると云ふ態度はいけません。宜しく人事を盡して天命をまつべきであります。あると思つた凍害がなつて、豫防したことを徒勞のやうに感じるのは、生命保険料を拂つて死な／＼いのを残念がるやうなものではありませんまいか。

硬化病消毒 硬化病が出たら蠶體消毒をすればよいと考へることは危険です。豫め蠶室器具を消毒し飼育法に最善の注意を拂つて極力病蠶の發生を防ぎ、それでも出た場合にはやむを得ず蠶體消毒をします。それを蠶體消毒を過信して「ナニ硬化病が出たらクワイトを使へばよい」と平氣で居るのは、實に危険と言はなければなりません。斯く言ふ私は、胃腸によく効く神効散といふ臭漢藥を知つて居るので「あれさへ飲めば大丈夫」と油斷して却つて不養生をし勝て困りますが、この自

分の愚さに思ひ合せて近頃流行の硬化病消毒藥が却つて養蠶家を誤らせて居るいかと憂ふるものであります。

アラジールコーヒー コーヒーといへば必ずアラジールを思ひ出す位アラジールはコーヒーで持つて居るのですが、そのアラジールコーヒーは數年來生産過剰に悩み、政府もその市價維持のため統制に乗り出し果ては過剰分をわざ／＼焼捨てたり、或は機關車の燃料代りにしたりなど、色々と對策に焦つたのです。處が政府のコンナ人爲策によつてコーヒー原價は却つて不自然に嵩みその際他の國から「安いコーヒー」で肝腎の世界のお得意をどん／＼奪はれてしまつたので、政府も茲に漸く目覺めて來て七年振りにコンナ統制を廢棄し、むしろ栽培業者を優遇してコーヒーの自由市場再建に方針を轉じて、いよいよ「コーヒー」輸出の世界競争に乗り出すことになつたやうであります。統制ばやりの折柄、絲價維持などに就ても、他山の石として大に考へさせられる問題ではありませぬか。

佐藤信淵翁 徳川時代の大經濟學者に佐藤信淵といふ人があり、その遺著數千種ある中に、「經濟要録」と云ふ著作が最も重要なものとされて居りますが、私は近頃これを通讀する機会を得て、信淵翁の高邁なる識見に今更驚嘆し、訓へらるゝ所が非常に多かつたのであります。その中に蠶や繭絲に就て面白い記載がありますが、之を茲に一々御紹介申上げますが、之をせんから、たゞ桑に關係ある事柄だけ拾つて、翁の説く所を味つてみたいと思ひます。

桑は養蠶の基なり、是故に蠶を養ふの業を創むるには、先づ桑樹を作らざるは有る可からず。桑樹は能く植付くときは土性に拘らず、野にも山にも蕃衍する者なり。老木となりては葉を採るにも不便利なり、殊に葉も宜しからざる物なり。眞土に作りたる桑を以て養ひたる蠶は、絲共に強し其性質し、然れども其蛾は卵を生ぜざる者なり。又砂地に植ふる桑葉を食へる蠶は、卵を數多生むる者なり、絲を取るには宜しからず。凡そ物兩全を得ること能はざるは、即ち世界の常體なり。故に唯桑樹を多く繁茂せしむる事を得ば、養蠶の基根既に立てりと云ふべし。

講話ところ 比喩 譬句 諧謔集 千葉 高島 生

氣持 稚蠶用桑は一體硬いと軟いでは何れが適當かと言へば、硬からず軟からず、丁度良いのが丁度良いのであります。併し大體の氣持としては秋蠶には硬目のものを用ひ晚秋蠶には軟目のものを用ひるの様にすることがよいと思ひます。この「目」といふ言葉は氣持を示すので、硬目といひ軟目といふのは、結局氣持の問題でありますから甚だ抽象的の、不確の事やうでありますけれども、之が應用に依つて實用価値を生ずるのであります。或る所て鶏卵の雌雄鑑別器を賣つて居る

奇抜な飼育法 育蠶法の原理には二つはないが、養蠶教師がその技術を賣込むために、殊更他より異つた奇抜の方法を宣傳する者があります。それが飼育法混亂の因となつて困る事もあります。併し中には斯業に革新を齎すべき劃期的の方法もありますので、一概に排撃する事は出来ません。……一、一回給桑の飼育法を一名善光寺と申します。それは掃立てに蠶に給桑して置いて善光寺參詣に出かけ、ユツクリ歸宅してから箱のフタを取つてみれば蠶はスツカリ眠に就いて居ると云ふからであります。又オオモ育とか乞食育とかいふ飼育法もあります。之は庭先に蠶を

硬化病消毒 硬化病が出たら蠶體消毒をすればよいと考へることは危険です。豫め蠶室器具を消毒し飼育法に最善の注意を拂つて極力病蠶の發生を防ぎ、それでも出た場合にはやむを得ず蠶體消毒をします。それを蠶體消毒を過信して「ナニ硬化病が出たらクワイトを使へばよい」と平氣で居るのは、實に危険と言はなければなりません。斯く言ふ私は、胃腸によく効く神効散といふ臭漢藥を知つて居るので「あれさへ飲めば大丈夫」と油斷して却つて不養生をし勝て困りますが、この自

分の愚さに思ひ合せて近頃流行の硬化病消毒藥が却つて養蠶家を誤らせて居るいかと憂ふるものであります。

アラジールコーヒー コーヒーといへば必ずアラジールを思ひ出す位アラジールはコーヒーで持つて居るのですが、そのアラジールコーヒーは數年來生産過剰に悩み、政府もその市價維持のため統制に乗り出し果ては過剰分をわざ／＼焼捨てたり、或は機關車の燃料代りにしたりなど、色々と對策に焦つたのです。處が政府のコンナ人爲策によつてコーヒー原價は却つて不自然に嵩みその際他の國から「安いコーヒー」で肝腎の世界のお得意をどん／＼奪はれてしまつたので、政府も茲に漸く目覺めて來て七年振りにコンナ統制を廢棄し、むしろ栽培業者を優遇してコーヒーの自由市場再建に方針を轉じて、いよいよ「コーヒー」輸出の世界競争に乗り出すことになつたやうであります。統制ばやりの折柄、絲價維持などに就ても、他山の石として大に考へさせられる問題ではありませぬか。

上田便り

スキー大会選定は菅平 本縣スキー聯盟代表委員会は四月九日午後一時から縣廳に於て開催し新年度豫算五百七十七萬を議決した後、昭和十三年度全日本スキー選手権本縣選定は菅平にて、又本縣スキー大会は飯山に於て開催に決定した。

新入學者氏名

- 養蠶科 (三十六名) 秋馬彌平 兵庫 東正夫 千葉 青柳敬之助 長野 阿武忠雄 山口 池田逸郎 長野 井上貞二 山形 今田達夫 富山 榎健一 兵庫 大井卓雄 長野 堀田健一 兵庫 金井勘治 長野 北村義近 長野 金酒植 朝野 小泉洗雄 長野 清水比呂夫 長野 佐藤 長野 高橋通 長野 鈴木道夫 長野 外村吉高 長野 竹中光一 長野 二宮正三 長野 中島元一 長野 松尾卓見 長野 半田孝康 長野 松田得治 長野 水口米雄 長野 目崎正夫 長野 門傳東吉郎 長野

松本市外務部に開局近き J O S G 本放送局も愈々竣工四月二十六日より試験放送を開始したが近く局長以下職員任命と共に諸準備を整へ近くローカルの醜味を盛つた豪華なプログラムで開局の運びとなつた。

電力信州今や懸命

電力信州今や懸命 電力國家管理法案の施行を前に奥野河川課長は近く上京關係當局を歴訪實施後本縣に及ぼす影響並に今後の水源開發の方針等詳細に打診の上縣の方針を樹てることになつた。

依田川名物の付場開始 清流依田川名物も最近相替りあるが一方赤魚料理として名物的に知られて居る長瀬村では數日前より西北依田川堤防上見晴好まき場所に數千のボロリを貼付待ち好まき者居る。尚丸子鐵道では季節中全線團體者に限り割引する。

小地方の盛況

小地方の盛況 上田電報支所發表に四月十八日曜日廿二日、早口で昨年比し昨日、三日早く昨年比し早口十五日、大並十九日、遅口昨日でこれも一兩日の促進振りは注目の的となつて居る。

東信中等校野球リーグ戦 恒例の東信中等校野球リーグ戦は愈々五月八日から行はれるが本年こそ縣下中等野球大會優勝を目指して開幕することとなつた。

岩谷堂公園

岩谷堂公園 小縣郡依田村中山青年團では昭和九年以來五年計畫で依田窪地方の名刹岩谷堂境内にツツ、ジの植栽を行ひ本年大体完了したため今度同村御嶽堂青年團と呼應しボタンの植栽をなしツツ、ジとボタンの大遊園地を作り、丸鐵、温電とタイアップして觀光地として宣傳することになつた。

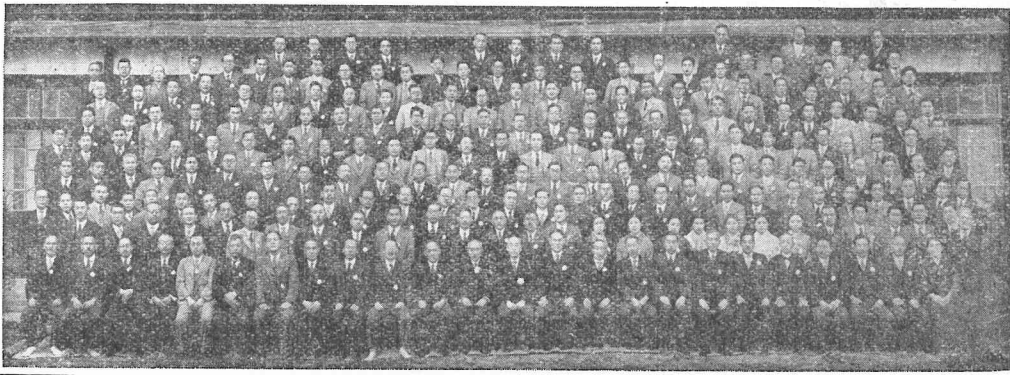
ハイキングコース 長野運輸事務所が産後役となつて長野松本上田高田の管内四都市にハイキング協會の結成を、名勝、古蹟、山嶽、高原の跋涉、神社佛閣參拜等に依つて就國民の心身鍛練の一層強化を図る事になつた。

木炭自動車

木炭自動車 木炭自動車はガソリン節約の折柄上田温泉電氣に於ては木炭自動車を購入する事になり五臺配給されるが右は大形自動車に先づ青木上田間のバスに常用するといふ。



男、藤松利八、湯原諒、高橋貞澄、中野保忠、平野正夫、阿部丈夫、中島角太郎、小林輝夫、武井仙太郎、征矢克郎、小本會眞佐雄、山崎尊録、箕輪貞三、栗林悦、田村三郎、岸善亮、市原三九、右列より、村瀬儀市、小林尚一、小林敏、政治、内藤榮吉、細谷金次郎、友野正路、野澤司馬作、戸家一、馬場貞一



本年度養蠶實習計畫 四月二十日養蠶科職員會議に於て本年度養蠶實習に關して種々打合せを行つたが實習決定は次の如く決定した。

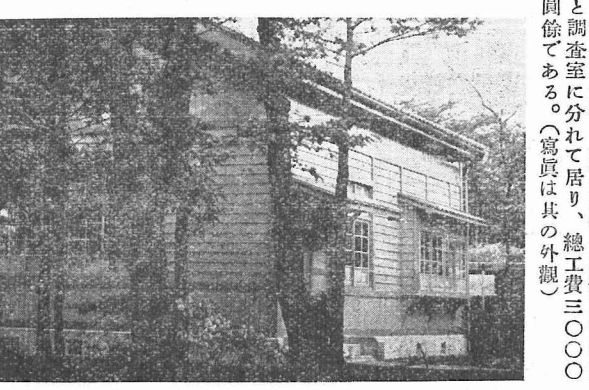
紡織員對紡三庭球戰 四月廿一日午後四時より學生コートに於て折柄烈風の中を紡織科職員對紡三學生の庭球試合を行つた。五組宛出場し職員側三組を破つた。之れが本年度庭球試合の皮切りである。

針塚先生夫人謝恩會 今回針塚校長先生御辭任に當り多年針塚先生夫人の御交誼に預かつた井上校長夫人始め阿形、石倉、大瀧、遠藤、佐藤、岡先生夫人方が市內總宜亭に於て母校長夫人方々により謝恩會が催された。三十餘名出席者あつて席上謝恩記念品を贈呈、午後四時盛會裡に終つた。

古平庄衛氏の製絲入り 製絲化學教室井上教授實驗室勤務副手古平庄衛氏(轉十九)は四月廿八日附を以て製絲科に轉ぜられ教養養成科の授業を受持たれる事になつた。



新製絲研究室完成 製絲科職員室北側の新研究室は全十二月には大體工事を終り本年四月漸く内部の設備も整つて愈々製絲方面の研究が續々とこの研究室で成される事となつた。同研究室は建坪三〇坪(間口六間、奥行五間)で内部は實驗室と調査室に分れて居り、總工費三〇〇〇圓餘である。(寫眞は其の外観)



校內園藝大會 母校職員中には基天狗が大分揃つてゐる。そして時折個々に烏兔を戦かしてゐるが未だ大會と云ふ様な催しをした事が無いので何時かそうした催しをやらうと云ふ様な意見が纏りその第一回を四月廿九日午後一時から千曲會館日本間で開催した。出席者は行元、倉澤、古谷、宮本、細谷、清水、石井の七氏その外に見物人として村瀬、志賀、香山、小林(尚)、久保の諸氏加り初回は法は最初總當りを行ひ次に拔勝負を行ひ午後九時頃迄かゝつた様である。戦績は左の如く行元氏大當りと云ふ譯である。

一等 行元 全勝



### 針塚長太郎先生謝恩記念資金募集

針塚先生の御勇退に關しては已に四月號本紙上に於て御報告致した通りであります。先生御勇退の報を知りや吾等は直に最善の方途を講じて阻止申し上げることに専念致したのであるが、事已に晚くして志と違ひ、遂に三十年來の親しみ深い慈父と御執れすることになつたのであります。多年先生の御訓育に浴し來つた我等としては惜別の情まことに忍び難きものあるを覺えますが先生の堅き御決意をうかがつては、此の上無理をお願ひすることは却て先生の御徳を毀れるものと存じ已むなく成り行きに委かされたのであります。されば、吾等は思ひを轉じて、先生多年の御心勞を感謝する方を講ずることがせめてもの子弟に許された唯一の道であると信じ此の舉を企てるに至つたのであります。去る四月十七日、本件に關する本會大會を開催し満場一致の決議を以て本案の御賛成を得たのでありますから何卒會員各位に於かれても我等の意を賛し左記により絶大な御援助を願つて已まぬ次第であります。追而詳細は夫々御手許迄御通知致します。

金	一口三圓	(口數にて申込むこと)
申込	六月末日	當該係り宛
送金	本會内	當該係り宛
拂込	十月末日	當該係り宛
贈呈	今秋代議員會	理事者一任に願度し
方法	以上	

### 校歌レコードの頒布

待望久しきレコード成る。針塚先生の肉聲は眞に迫りて恰も親しく響かに接するが如く、校歌三唱、亦自ら懐舊の情、感激の涙禁ずる能はざるものあり、新作の校友會歌は現代樂壇の巨匠橋本邦彦先生畢世の力作にして、歌風の典雅、調子の勇壯なる、歌詞と共に克く上田の環境と魂とを歌ひ得て餘りあり。凡そ母校に關係を有する者は若き者あるまじき不拘之を座右に備へざるべからず。已に各地の同窓より絶大の好評を獲たれば敢て之を會員各位に獎一、代 價 一枚 金貳圓 (荷送り送料共) 一、申込場所 本會内久保藤一宛 申込と同時に現品發送す

### 支那事變應召者に就て御願ひ

本紙會員動靜欄へ登載以外に應召會員御承知の方は左記事項至急本會迄御一報の程御願ひ致します。尙今後應召された場合には御家族は勿論會員にして御存じの方は速かに御通知下さる様御願ひ致します。

- 一、應召者氏名
- 一、家族の現住所及氏名 (留守中通信先)

### 出征會員慰問資金募集

本會出征會員に就ては毎月本紙動靜欄へ登載の通りであります。逐日其の數は増加致して参ります。第一線に活躍せらるる我同窓勇士の勞苦に想ひを致す時は實に感謝感激の至りに堪へません。何卒本會設立の趣旨御諒承の上奮て御献金賜はらん事を御願ひ致します。

上田蠶絲専門學校同窓會統後會

### 加美好男氏の洋行

ヌーパル、フアイバー界に其の人ありと知られたる新興人絹株式會社取締役技師長加美好男氏(絲三)は今回半年の豫定で社用と商工省囑託の下に歐米の人絹特にバルブ事業調査研究にて洋行せらるゝ事となり三月廿一日神戸出帆の白山丸にて出發された。

### 飯島正胤氏小縣蠶業學校退職

千曲會監事飯島正胤氏(蠶二)は三月廿一日附を以て後進に途を開く爲め小縣蠶業學校主席教諭を退職された。同氏の同校在職は實に廿三年間に及ぶ。退職後は故郷植科郡五加村三三〇に於て蠶業に従事せらるゝと云ふ。

### 林教授朝鮮滿洲及北支

母校林教授は五月九日出發約一ヶ月の豫定で朝鮮滿洲及北支へ出張旅行せらるゝ事となつたが日程は左の如くで多少變更があるかも知れない。

#### 日程

- 五月十一日(朝釜山發、京城泊) 十二日(京城泊在) 十三日(京城發、平壤泊) 十四日(平壤發、安東泊) 十五日(安東發) 十六日(午前奉天着泊) 十七日(西豊往復、奉天泊) 十八日(奉天發) 十九日(新發達、奉天泊) 二十日(奉天發) 廿一日(新發達、ハルビン泊) 廿二日(ハルビン發、奉天泊) 廿三日(海城) 廿四日(蓋平) 廿五日(熊岳城) 廿六日(熊岳城發、大連泊) 廿七日(大連上船) 廿八日(天津泊) 廿九日(北京泊) 三十日(北京發、張家口泊) 三十一日(張家口發、大同泊) 二日(大同泊在) 三日(大同發、北京泊) 四日(北京發、濟南泊) 五日(濟南泊在) 六日、七日(濟南發、天津、奉天、安東) 八日(奉天泊) 九日(奉天發、光州泊) 十日(光州發、大邱泊) 十一日(大邱發、釜山夜上船) 十二日(朝下關着)

### 千曲會大會

母校千曲會主催新舊校長歡送迎會にて全國より會員諸氏が多數來會せらるゝを利用して四月十七日市公會堂階下に於て千曲會大會を開催した。出席者は一

八八名に達し盛會を極めた。午後二時蒲生理事長開會を宣し同時に針塚校長退職に至る迄の経過を報告し更に針塚校長退職に就き千曲會會長の名譽消滅となりたるに付き井上新校長の名譽會長推戴式を行ふ旨を述べ、井上新校長登壇、就任挨拶を述べらる。會員一同拍手して之を迎ふ。推戴式終了するや直ちに協議會に入る。蒲生理事長より議長の決定方法を諮り理事長指名と云ふ事になり網村實氏に依頼す。網村氏登壇議長就任挨拶を述べ議題たる「針塚先生謝恩方法に關する件」の協議をなす。多數の人の間に意見の開陳、質疑あり倉澤理事より本部案の説明あり種々討論の後北信佐谷戸健次郎氏より委員會に依つて決定しては如何との意見に従ひ議長より芝、佐谷戸(原)、岸、麗原、岡部(康)、久保田(久保田)昌、細川、岡村、唐澤、山本、二宮、岡部(彌)、小林(茂)、篠田、小笠原、神原、鈴木の廿五氏を委員に指名し委員は別室に退き委員會を開催す。之の間本會議は休憩となる。時に三時半であつた。午後五時半本會議再開、原田委員長より左の如く委員會の結果を報告あり。

針塚先生謝恩金募集と記念事業を行ひ度い。謝恩金の方は廿八年間御厄介になつた感謝を表はすものなる故贈出金の力を以て之に當てたい。大体金額は一万圓以上とし贈出範圍は千曲會員のみに限り他に呼び掛けぬ。但し他の團體に於て、別個に行ふは之を妨げない。尙之の具体的方法は理事者に一任する。更に謝恩金募集の外に何等か針塚先生の徳を永久に傳へる様な記念事業を行ひ度い。事業の性質に依つては基本金の一部を使用する必要もあらう。然して基本金の使用は代議員會の決議を要する故今秋の代議員會迄に理事者に於て具体的方法を考究し議題として提出し得る様にして欲しい。次いで東海老荒雄氏緊急動議を提出し「針塚前會長を同窓會に於て何等かの名稱をつけて、關係をつけて置き度い。もう一つ上田蠶絲専門學校同窓會を千曲會と變更せる筈なるに上田蠶絲専門學校千曲會と書く場合をしばしば見受けらる。今後千曲會のみとする事を勵行して欲しい」との要請があつた。斯くて辭り無く會議を終へ蒲生理事長登壇、閉會と併せて謝辭を述べ五時半閉會した。

### 飯島正胤氏、小林繁氏、熊谷恒次氏外三氏歡送迎會

小縣蠶業學校教諭を退職された飯島正胤氏(蠶二)長野縣蠶業試驗場上田支場技師より飯田支場長に轉任せらる小林繁氏(蠶八)同じく上田支場技師より飯田支場技師に轉任せらる熊谷恒次氏(蠶一六)小縣蠶業學校長より長野縣立青年學校教員養成所長、上水内農學校長に轉任せる今村省三氏、北佐久農學校長より小縣蠶業學校長に轉任せる西村治巳氏、長野縣經濟部上小出張所長となれる須田國之助氏、以上六氏の歡送迎會を時局が合同てなす事となり成澤一郎、深井功、瀧澤一郎、若林祐作、宮下周、宮下智三郎、矢島六平、清水正平の諸氏等發起にて四月二十日午後五時より市公會堂にて開催され出席者百七十餘名に達し成澤市長の開辭、六氏の謝辭があつて開宴針塚前校長發聲にて万歳三唱歡會した。

### 御挨拶

拜啓時下新緑の候御高堂益々御清勝の段奉賀候。部者小生儀昨年一月に於て御高配に預り御懇情身に滲み有難く奉深謝候。今般一時召集解除と相成り再び化學部へ勤務致す事に相成候に就ては専心精勵以て御高恩に報ひ度心算に候へば何卒相變らず御指導御鞭撻を賜り度偏に奉懇願候。茲に以寸楮謹度謝意を表し奉り旁々御挨拶申述度如斯御座候。 昭和三十二年五月 細川 豊 敬具

### 召集解除挨拶

謹啓 時下春暖の候愈々御清祥の段奉存慶賀之至候。陳者私儀〇月十五日應召〇〇部隊在營中は格別の御懇情を賜り深謝罷在候。今般召集解除と相成り從前通り左記に勤務致居候間何卒今後共一層の御交誼の程御願申上候。先は不取致度如斯御座候。 昭和三十二年五月一日 長野縣植科郡坂城町 壇南農蠶學校 宮本 清松 敬具



支會通信

龍川會便り二

其の一

信州の伊那と言へば先づ第一に思ひ出されるのは天龍峽であり伊那節であらう。伊那節を唄ふ人はきつと七、八尺に繁つた桑の中から小唄の洩るゝ、蠶絲郷伊那の風情を思ひ出すであらう。實際下伊那は蠶の郷である。其の伊那の養蠶と言へばすぐに聯想される人がある。それは我等が龍川會長(前)皆川さんである。

皆川さんのあの口、あの目、それにいつもキチンとさせて居る頭髪、それに一種特別の話し口調、其れ等が一體となつて、正直な、親切な性格をそのまゝ表現して居る。私は前に一回某會議に傍聴的に参加した時、あのやさしい皆川さんが非常に強い意見を出し徹底的に主張されるのを聞いて皆川さんの性格の半面を知り得、同時に非常な心強さを感じた。此の時に私は皆川さんの極めて皮相乍ら全人格をはじめ知つた様な気がした。

所が今度突如皆川さんの松本支場榮轉の報が齎された。我々も、下伊那の當業者も、又すつかり下伊那人になりきつて居た皆川さん自身も驚いた。全く誰しもが想像だにもしなかつた移動である。而して其の驚きをして愈々深めたのはわが山崎さんの上田支場への榮轉の報である。あの若さに似合はぬ頭の具合、それに氏の持つ天下第一の明朗さ、喚發する才氣とユーモア、全く一度山崎さんに接すれば、誰でも無限の親しみを感ぜずには居られない。而して皆川さんの唯一の股肱として下伊那蠶絲業の技術指導を一手に引き受け雄々しく活躍せられた山崎さんが上田に榮轉さるゝことになつたのである。下伊那業者の愕然として色を失つたのも無理からぬことである。

併し我々にして見れば、離別の情は轉た、忍び得ぬものがあるにせよ、一面に於て皆川さんも山崎さんも大榮轉をされることであり、而もさう遠くへ行かれるわけではなし、喜んで御送りすべきであるか知れぬ。

我々が兩氏を送るについて次の關心は後任の問題であつた。而して其の發表を

見て安堵の胸を撫でおろしたのである。それは上田から小林、龍谷の御揃ひの敏腕コンビの赴任である。下伊那全業者は刮目して兩氏の腕に期待と信頼とをかけた。ここに急ではあつたが三月廿八日に飯田仙壽樓で龍川會の歡送迎會が催された。小林氏の送迎の辭についで皆川さんの情切々たる答辭及び活氣にみちた小林新場長の挨拶あり、尚引きつゞき皆川さんより小林さんの支會長推薦がありついで宴會に入つた。

酒は天下第一の愛の譽、場所は仙壽樓も完全なる我等が同志の會合、伊那節、龍峽節、木曾節、さては會員一同の一人一藝の餘興等々、時の移るを忘れた。やがて明日の分に手をつけんとする頃四氏の萬歳を以て思出深き會を閉じた。

其の二

四月五日午前十時、小林支會長から電話で、本日午後井上新校長先生が御見えになるとの通知があつた。當時の我々の心中は、母校針塚前校長先生御勇退の報に愕然として色を失ひ、而して井上先生の新任長御榮轉の報に漸く冷静と安堵とを取り戻した矢先だつたので、井上先生來飯の報は全く豫期もせざる絶大な喜びであつた。

午後七時樞樞堂ホテルに先生をお迎えした時は久しぶりにて慈父に先見えたる子の如き心情が胸一杯に込み上げてきた。松本から岡村、林、藤本の諸先輩が先生をお送りして來飯されたことは我々の喜びを一入深めた。

小憩の後、歓迎の寸志を表すべき小宴が開かれた。本當に急ではあつたが、先生の徳に慕ひ集まる熱情に總ての支障は解消してか、在下伊那の會員は全部參集した。數日來上京不在中の報に我々が失望せしめた御大竹村氏の來會されたなどはむしる奇蹟的に思はれた。

市瀬さんの實に巧なエックス踊り等々。井上先生をお迎へしての龍川支會は文字通り歡喜のルツボと化した。寄せ書き紙がまはり寫眞屋が来る。入れ替り立ち替り前に待てる教へ子たちに訓へ、語り、話し諭さるゝ先生の御顔にもたえず微笑が浮んで居た。松本遠征隊により會は一段と賑つた。



やがて市瀬氏のリードで井上先生祝賀パツパ、ついで酒井氏の發聲で、先生の御榮進祝賀と前途の御多幸を念じ、母校の發展を祈つて、天地に轟けと萬歳を三唱、更に先生の發聲で龍川會の前途を祝して散會。(中澤記)

上海より

飯島 貞雄

新緑の好時節と相成り候。其後は打ち絶えて御疎遠に打過ぎ失禮仕り候。益々御隆盛の事と遠察申上候。不肖事今回は戦渦の中に在りながら何等の故障もなく幾多の恐怖は襲はれ或は危険にさらされ乍ら幸に邦家の爲め微力を致し皇軍の活躍を目のあたり見、御後威輝く聖職下に統後の努力罷在候間乍憚御安意被下度候。尙工場は當地にても西部紡績地帯の關係上蘇州河を隔て、敵陣と對峙致し居り候ものゝ幸に何等の被害もなく三月末より一部操業を開始するの運びと相成り候。昨年八月十八日内地に避難致し居候婦女子も近々復歸致し居り日増しに賑かさを加へ居り候。租界内には時々一二の不祥事件は勃發するも大體に於て平静に復し皇軍の守り愈々堅く吾等邦人も先づ安堵致し夫々の業務に努力致す様相成居候。吾々千曲會員中にも多數の方が今拜見仕り候。當地には會員としては一會員小生のみに在居し居り候。未だ一人の會員も當地に接見し居り候。若し何か機會も存じ候はば當地出征の會員諸氏にも是非一度御立寄り被下様御渡し被下度、尙出征中の所屬部隊等御わかりに御座候ば折を見て御慰問も致し度き所存に御座候へば甚だ御手數恐入候へ共御一報賜はば今更現職を御辭任致され井上教授御昇進の様新聞紙上に拜見驚き入り候。御老體に有之候も永年母校の爲め御盡瘁被下慈父を失ふ事は誠に心惜しき限りに御座候も時潮の變遷之れ又止むを得ざる次第と存候。折角御自愛の程祈上候。先は御疎遠を謝し右御願ひ申上候。乍末筆紡績科諸先生方に宜敷御傳聲の程御願申上候。(四月七日、野口教授宛)

六生絲工場開設

近く操業の豫定

今回事變の發生以前迄は上海、無錫、嘉興等の江浙兩省に於ける生絲廠の總數は約百二十家に達したが事變の發生と共に之等各廠の所在地が戰區となり目下の所恢復の法なく其の損失實に莫大なものがある。然しながら上海公共租界の安全地域にある怡和、鴻豊及豐樂の三絲廠は已に開工し其の車數一〇四に達してゐるが、更に西區の越界築路附近に新設の絲廠は六家に達し諸機械の裝置を俟つて開工の運びに至る豫定で開工豫定の六廠は次の如し。(一)張奇齡一五二部、(二)連納洋行徐買辦一一二部、(三)徐視純一八〇部、(四)沈九如一二〇部、(五)吳炳文一六〇部、(六)張季芳五〇〇部、總計一、二、四部、其の機械様式は一部を除いて殆んど新履様式である。尙江浙兩省に於ける春繭の上市は毎年浙江省の紹興、嵊縣、蕭山、新昌等が最も早くほ三月十八日の前後で江蘇省の無錫、常州江陰等が最も遅れほ五月末で各產繭區域に繭行が設立され取引が行はれるが本年は戰火のため紹興區の農民が例年の如く育蠶を行つた以外其他各所に於ては行はれなかつた。目下の所華絲の輸出は殆んど中絶を見てゐるが内國の需要起り公共租界西區の各生絲廠も漸く開工の運びに至り最近紹興、新昌、嵊縣、諸蠶山等から寧波を経て上海に搬入された繭は總額二万包に達する。尙ほ日本側絲廠に於いては人を派し管理戰區の繭子を買収し生絲廠の設立を計畫してゐる故に近く虹口、開北等の戰區内華商絲廠の未だ破壊せざるものは修理を加へられ春繭の上市後開工を見るものと思はれる。(四月廿三日記事)

上海毎日新聞より

小林 重男

江浙戰區内絲廠損失一億元以上  
本年春蠶も絶望する  
江浙兩省の蠶絲業は事變の影響を蒙り完全に停頓の現状にあるが當地絲綢業者方面では江浙兩省の蠶繭の七要産地たる

戰地便り

三好圭一氏より

時下春陽の候と相成候處校長先生始め諸先生には益々御清祥の段還察仕り候。諸而私事出征以來愈々健在去る○月月初旬出動去月末日迄戦闘に参加南下して進軍黄河の線迄推進候。今回奇しき縁なるか吾○隊は貴地遺山部隊に配属終始出動を共に致し候。久振りて丸出しの信州辯を聞き十数年前の學生時代を想起致し候。同窓生名簿により同窓生を探し候も容易に見當らず遂に三月十七日平陸に於て漸く淺治伍長(昭和九年卒)に而會他の同窓生百瀬氏、山口氏、岡宮氏が部隊内にあるを聞き及び何時か悠つくり滞在のとき陣中の同窓會を開備する事に決め其準備を淺治氏に依頼せしも遂に三月末日お互に別れの言葉も告げず四散今後何時又出遭ふや不明恐らく同窓の方には而會出來ざる事と考へ候。淺治伍長殿も○隊長として健在に活動致し居られ候。淺治伍長の話により手塚伍長の戦死を知りし候。手塚氏戦死の状況は淺治伍長より詳報有之管に御座候。あの時の戦闘は二月十四十五日兩日に亘り敵は右及前並左側の險山に據り堅固なる陣地及トーチカを構築し隨分強固に抵抗候。吾砲兵○隊も陸分砲撃せしも陥落せず其間歩兵隊には十名の戦死傷の後送せらるゝを見申し候處其の中に手塚伍長のありしとは全然知らず今に甚だ遺憾に存じ居り候。其際我砲兵隊にも敵の迫撃砲にて戦傷八名、馬の死傷四頭を出し候。吾々が此度の戦闘にて陣中露營せしは之の時が一番初めて有之候。夜半にも吾々の觀測所には敵彈落下殆んど眠らず夜を徹し午前二時半止むなく砲撃せし位にて御座候。戦況に關しては詳報するの自由無之を遺憾に存じ候。却説今度の戦闘間黄河附近の開貴、解縣、平陸、茅津(茅津城奪取の際

石原六朗氏より

三月十四日小生歩兵○隊本部と連絡中不幸にして敵砲彈四散に見舞はれ一彈の破片にて左腰に貫貫を受け候も天祐? 傷淺く今は全快致候)等には老桑樹を相當に見受け申し候。現在地附近の桑樹も今は脱苞期の様馬上より見受け候。尙運城に宿營候節は黄蘭絲を棒に繰りたるもの四棒を見受け申し候。黄河沿岸には少量軍ら畜獵しあるものと被認候。終りに諸先生の御健在を祈り上候。本文は明朝自動便有之由開き及び明日を外せば又何時なるや不明の爲め取急ぎ認め候儘亂筆なるも何卒不悪御容赦被下度候。(四月四日夜十一時銃聲を聞きつゝ、認む)小生○隊の觀測○隊長の任に有之候。(千曲會宛)

柳澤與子治君(使丁)より

春陽の初り現下非常時の戦時體制及國民精神總動員と複雑多難の折衝留守中種々御後援に預り厚く御禮申上ます。事變長期に對應する昨今一意家郷の心慮も無く活動の出来る事も皆々様の御後援に外ありませぬ。國家總動員に協力一致困難打開に當り心強き感じが致します。御蔭下で小兵無事目下湖州に駐屯。湖州、嘉興等多くの軍橋架設に従事致し居り他事乍ら御放念下され度現下春陽の暖氣に山川草木繁茂の爲め便衣隊敗殘兵の暴行甚だしく敵乍ら長期抗戦の覺悟の下に全くのゲリラ戦の本能を發揮し我が警備線を巧に突破最近に於て頻々と事故を起し居りし末昨今新政府樹立に際し支那國民性の威力を示して後宣撫工作とか愛護をすべきものにて未だ後方の任務かと考へます。願れば出征以來半星嶺郷土代表として活動しつゝある我が無上の光榮と存じます。幸ひ今日迄微傷に負はざざる事も切に皆様の加護と深謝する次第にございませぬ。先は種々御後援を謝し傍ら近狀報告迄申上ます。(四月二十四日、千曲會宛)

叙任辭令

- 母校之部 四月十一日 目崎三郎 叙勳八等授瑞寶章 四月十一日 戶塚一 若林康弘 阿形一三 副手ヲ命ス 小澤利雄 養蠶科勤務ヲ命ス 四月十三日 網紡織科勤務ヲ命ス 四月十三日 副手 小本會眞佐雄 願ニ依り副手ヲ免ス 塚田典次 副手ヲ命ス 小松忠幸 蠶絲化學室勤務ヲ命ス 四月十四日 副手ヲ命ス 副手 副田好美 願ニ依り副手ヲ免ス 四月二十七日 瀧澤七郎 副手ヲ命ス 養蠶科勤務ヲ命ス 四月二十八日 賜一級俸 和仙太郎 依願免本官 全 和仙太郎 蠶絲化學室勤務ヲ免シ製絲科勤務ヲ命ス 宮島徳一郎 叙勳六等授瑞寶章(四月一日) 年功加俸年額金百九拾貳圓下賜(一月十九日) 從三位勳一等 針塚長太郎 特旨ヲ以テ位一級追陞セラル(以上四月二十三日) 針塚長太郎 卒業生之部 地方農林技師 万石安太郎 叙勳六等授瑞寶章(四月一日) 正六位 小笠原安重 年功加俸年額金百拾六圓下賜(四月一日) 公立實業學校校長 佐藤俊三 同 公立實業學校校長 土岡光郎 八級俸當分千四下賜(三月三十一日) 同 茂

會員動靜 (五月九日)

宮島徳一郎(舊) 教(勤)富山縣中新川郡上市町、富山縣上市農學校
早川直瀨(舊) 教(勤)東京市杉並區荻窪三ノ四三
工藤二三(舊) 教(勤)大分縣直入郡竹田町、大分縣立竹田中學校(住)大分縣直入郡八木村大字門田三〇八〇(舊、東海支會)

藤井宗雄(舊二) 教(勤)靜岡縣二俣町、靜岡縣蠶業取締所二俣支所(住)二俣町
香山 護(舊二) 教(勤)京畿道富川郡紫砂面、京畿道原蠶製製造所(住)紫砂面
坂本勝三(舊三) 教(勤)岐阜縣稻葉郡那加村、岐阜縣蠶業試驗場

新任挨拶
謹啓 春暖の候、愈々御多祥之段
奉賀 陳者私儀、御蔭に相成
學中 一方な御母、御蔭に相成

新卒業生就職先 (五月九日現在)

養蠶科 (第二五回) (廿八名)

- 會田誠司 (勤)京畿道水原、朝鮮總督府農事試驗場蠶絲部(住)勤務先ニ同ジ
阿形一三 (勤)本校生物學教室(住)上田市鷹匠町
市川信二 (勤)長野市岡田、長野蠶業試驗場(住)勤務先官舎
市原政治 (勤)本校養蠶科
伊比哲寛 (勤)松本市蠶玉町、片倉蠶業試驗場
宇田哲郎 (勤)松本市蠶玉町、長野蠶業採取所所屬代支所
岡田量雄 (勤)京都市綾部町、新綾部製絲研究所
岡宮辰夫 (勤)京都市綾部町、新綾部製絲研究所
兒玉貫八 (改名)貫香ト改ム(勤)京都市綾部町、新綾部製絲研究所
佐藤祐三 (勤)京都市綾部町、新綾部製絲研究所
島田博 (勤)京都市綾部町、森青年學校(住)埴科郡松代町
清水良一 (勤)京都市中區大町、農林省蠶絲局蠶業課(住)京都市品川區大
瀧澤七郎 (勤)本校養蠶科原蠶部(住)更級郡川中島村四ツ屋
塚田恒久 (勤)本校養蠶科原蠶部(住)更級郡川中島村四ツ屋
塚田典次 (勤)本校養蠶科原蠶部(住)更級郡川中島村四ツ屋
都筑正一 (勤)岩手縣一ノ關町、昭榮製絲一關工場(住)勤務先ニ同ジ
中西俊秋 (勤)京都市中區西ヶ原、農林省農事試驗場昆蟲部
中村繁 (勤)群馬縣多野郡新町、昭榮製絲株式會社(住)勤務先ニ同ジ
長倉稔 (勤)静岡縣加茂郡松崎町、静岡蠶業試驗場松崎支場(住)勤務先ニ
生天月久平 (勤)德島市館嶺町、德島縣立農業學校
堀口友治 (勤)埴科郡坂城町、埴南蠶業學校(住)坂城町長水館
松永義徳 (勤)熊本縣菊池郡限府町、鐘紡菊池工場
松吉博隆 (勤)朝鮮總督府農事試驗場平北軍營蠶業出張所
水出徹 (勤)愛知縣寶飯郡蒲郡町、愛知縣立蒲郡農學校
三原磊藏 (勤)京都市中區西ヶ原、農林省農事試驗場昆蟲部
矢野進 (勤)松本市蠶玉町、片倉蠶業及團
若林康弘 (勤)新潟縣新井町、新潟縣立新井農學校
製絲科 (第二五回) (三十名)
有賀正治 (勤)福井市花堂町、酒伊織維工業精練加工工場精練部(住)福井市花堂
磯部鐵雄 (勤)三重縣龜山町、龜山製絲株式會社
伊藤一義 (勤)京都市杉並區高岡寺、農林省蠶絲試驗場
上田實 (勤)和歌山市外北島、昭光紡績株式會社(住)和歌山縣海草郡野崎村
野崎和田留藏方
内間仁三 (勤)彦根市、近江絹紡績株式會社
内海弘 (勤)京都市中區大町、農林省蠶絲局蠶業課(住)京都市目黒區中
小口宗久 (自營)製絲業、高田市南本町二丁目電話工場二七宅八一九
太田速雄 (勤)福井市花堂町、酒伊織維工業精練加工工場染色部(住)福井市花堂
尾崎孜 (勤)京都市綾部町、新綾部製絲株式會社(住)勤務先男子寮
金丸八郎 (勤)熊本市内坪井町一七一、肥後製絲株式會社(住)勤務先ニ同ジ
加茂小四郎 (勤)奈良縣八木町、奈良縣蠶檢定所
外城和 (勤)名古屋市中區高橋、名古屋高等商業學校小原教授研究室
北澤泉 (勤)滿洲國遼寧省汪清縣圖們市外石峴、東洋パルプ株式會社(住)勤
倉田正一 (勤)京都市目黒區駒場町、東京帝大航空研究所發動機部(住)京都市
世田谷區北澤一ノ二一六、長澤方
小松忠幸 (勤)本校製絲科
小林相模 (勤)本校製絲科
金藤正治 (勤)京都市目黒區駒場町、東京帝大航空研究所

紡織科 (第一七回) (二十名)

- 進野精生 (勤)廣州市中區北仲通、農林省廣生絲檢査所
高田正氣 (勤)滿洲國遼寧省汪清縣圖們市外石峴、東洋パルプ株式會社(住)勤務
高橋重一郎 (勤)先ニ同ジ
塚田和郎 (勤)京都市綾部町、新綾部製絲株式會社
中村達 (勤)京都市立川町、東京府蠶檢定所
野口晃 (勤)福知山市、鐘紡福知山工場
濱口浩 (勤)小縣郡縣村中、田中製絲株式會社
原口惣一郎 (勤)埼玉縣本庄町、丸庄製絲會社
日曜一 (勤)本校製絲科
藤田六五生 (勤)滿洲國遼寧省汪清縣圖們市外石峴、東洋パルプ株式會社(住)勤
務先ニ同ジ
宮田修 (勤)埼玉縣大宮町、片倉大宮製絲所
吉川啓人 (勤)京都市目黒區駒場町、東京帝大航空研究所
吉瀬重正 (勤)松本市柴町、長野蠶業試驗場
紡織科 (第一七回) (二十名)
阿久津伊平 (勤)京都市東區龜戸町七ノ五〇、東洋紡織工業龜戸工場
淺山茂樹 (勤)本校紡績科
伊藤二男 (勤)富山縣婦負郡西吳羽村、吳羽紡績吳羽工場
植田實 (勤)前橋市岩神町、日本人造纖維株式會社(住)社内紫明寮
大塚浩 (勤)大阪府泉南郡貝塚町、貝塚紡績株式會社
小島武明 (勤)島根縣美濃郡高津町、出雲製絲株式會社石見人絹工場
金井忠義 (勤)大阪府外濱町下石津、錦華紡績浪速工場
小林九十二 (勤)京都市中區西ヶ原、特許局(住)廣州市神奈川區神明町
一〇、林方
小林龍太 (勤)半田市、東洋紡績知多工場(住)勤務先社宅二四
齋藤生實 (勤)埼玉縣北足立郡神根村根岸、東洋毛絲株式會社
早田充利 (勤)大阪府泉南郡貝塚町、東洋毛絲紡績株式會社
高橋卓爾 (勤)岐阜市外加納町愛宕町、朝日毛絲紡績株式會社(住)岐阜市外加
中田正信 (勤)大阪府南河內郡柏原町、柏原紡績株式會社
永井千治 (勤)京都市七條三本南、第一工業製絲株式會社
野村英夫 (勤)三重縣三重郡桶村、東洋毛織工業株式會社
平林孝方 (勤)前橋市三田尻、福島人絹株式會社
福永雄三 (勤)前橋市岩神町、日本人造纖維株式會社(住)前橋市國領町藥師小
本田武 (勤)富山縣東礪波郡非波町、吳羽紡績井波工場
柳澤柳二 (勤)兵庫縣保津郡半田村、兼松羊毛研究所(住)全上揖水寮
白鳥竹和 (勤)滋賀縣栗田郡瀬田村、東洋レイヨン瀬田工場(住)全工場男寄宿
寮)
教養養成科 (第六回) (一五名)
赤沼まさし (勤)上高井郡須坂町、昭榮製絲須坂工場
飯島安子 (勤)三重縣鈴鹿郡龜山町、龜山製絲株式會社
大瀧廣子 (勤)鳥取縣氣高郡湖山町、日本製絲湖山工場
清水敏江 (勤)全上
中澤澄子 (勤)全上
柄澤たけを (勤)群馬縣多野郡新町、昭榮製絲新町工場
小林玉枝 (勤)山形縣東陽郡漆山村、多野丸多製絲場
白井むつ (勤)埼玉縣北足立郡大宮町、片倉試驗所
相馬ナツ (勤)米子市旗ヶ崎、伯西社
土屋道子 (勤)小縣郡縣村中、金太製絲場
橋詰美智子 (勤)福岡縣筑紫郡二日市町、昭榮製絲二日市工場
原みつ子 (勤)岐阜市霞町、丸木商店
山崎傳 (勤)全上
宮崎久恵 (勤)京都市杉並區高岡寺、農林省蠶絲試驗場
柳澤連子 (勤)本校製絲科

新任挨拶

謹啓 春暖の候に御多幸に相成
奉賀 陳者私儀母御多幸に相成
學中 一方ならぬ御厄介に相成
今般 記の如く深くお蔭に相成
勤務 御事相成候に御多幸に相成
後共 宜敷に御事相成候に御多幸に相成
願和 先は御事相成候に御多幸に相成
御禮 先は御事相成候に御多幸に相成
蠶種 先は御事相成候に御多幸に相成

新任挨拶

謹啓 春暖の候に御多幸に相成
奉賀 陳者私儀母御多幸に相成
學中 一方ならぬ御厄介に相成
今般 記の如く深くお蔭に相成
勤務 御事相成候に御多幸に相成
後共 宜敷に御事相成候に御多幸に相成
願和 先は御事相成候に御多幸に相成
御禮 先は御事相成候に御多幸に相成
蠶種 先は御事相成候に御多幸に相成

新任挨拶

謹啓 春暖の候に御多幸に相成
奉賀 陳者私儀母御多幸に相成
學中 一方ならぬ御厄介に相成
今般 記の如く深くお蔭に相成
勤務 御事相成候に御多幸に相成
後共 宜敷に御事相成候に御多幸に相成
願和 先は御事相成候に御多幸に相成
御禮 先は御事相成候に御多幸に相成
蠶種 先は御事相成候に御多幸に相成

新任挨拶

謹啓 春暖の候に御多幸に相成
奉賀 陳者私儀母御多幸に相成
學中 一方ならぬ御厄介に相成
今般 記の如く深くお蔭に相成
勤務 御事相成候に御多幸に相成
後共 宜敷に御事相成候に御多幸に相成
願和 先は御事相成候に御多幸に相成
御禮 先は御事相成候に御多幸に相成
蠶種 先は御事相成候に御多幸に相成

計報

笠原松平氏戦病死

○部隊入隊中の神林浩三氏より左の如く笠原松平氏(絲十三)の戦病死の報告があつた。謹んで哀悼の意を表する次第である。御遺族は群馬縣北甘樂郡一宮町母堂笠原アイ氏及前橋市曲輪町一四清水水利三郎氏方令閣笠原喜與江氏である。

神林浩三氏よりの書状

貴會益々御活躍の御趣奉賀候。陳者本日時報到着拜見の處本年四月十一日戦病死せられたる當隊出身笠原松平君(絲十三)の戦病死の報告を拝見し、不意に存じ候。群馬縣一ノ宮町の實家若しくは勳先横濱生絲検査所より通知あるべき筈に候も未着に候や。事出戦務に關しては千曲會としても相當重要視せらるべき事と思考仕候も如何。同君出征當時即ち同君は勳務演習の爲に應召し後出動命令下りたるものにして當時暫し當隊に有り隣室に居られたるに應召中の小生とも常に往復入浴など一緒に参り母校の事など談笑し合ひ愉快に過したる事有之候。別紙現地より報告の如く永定河を裸體にて泳ぎ渡りたるが病因と見られ全く惜しき次第に御座候。尙死亡時は別紙に依れば四月十一日午前四時四十五分に當隊への公電も四月十一日と有之候。尤も右公電には病名不明とあり後報を待つ外無之候。場所は〇〇省〇〇兵站病院に候。右不取敢御報告申上候。遙かに故笠原君の靈に敬意を表す。南無阿彌陀佛。

(五月三日、千曲會宛)

部隊よりの通知

中里輜重特務兵より入院前の状況につきまして便りがありました。御知らせします。笠原さんは非常に活躍して居ります。永定河が解氷の爲め増水して居る事が出来ず本隊の食料が不足して困つて居る時に吾々の隊は連絡に出たが舟はなす渡れない、其の時に水に経験ありしたため永定河を裸體で泳ぎ渡り向側にて盥をみつつけ一つ持つて来て隊長(石井隊長ならん)を乗せて河を渡して連絡を取りました。此の時に笠原伍長の取れる處置は全軍の模範とするに足る事として隊長殿も殊の外満足せられた。其後すぐ發熱致し三十八九度より四十度の熱あるにも拘らず

四五日間活躍致しました。隊長殿は静養をすゝめたるも元氣に働きました。笠原伍長にして始めて出来る事にて他人の仲々及ばぬ事でありませぬ。遂に高熱のため入院する事になり私(中里)が笠原さんの荷物をもとめて自動車に乗せて「ては一日も早く全快して又原隊に歸つて下さい」と申しますと「大丈夫です全快して又歸つて来るから後はよろしく頼むよ。中里君」と申されました。かくして三月三十一日〇〇飛田部隊へ入院、四月十一日午前四時四十五分死亡。尙笠原氏重態の報受領するや同氏實弟次郎君が天津へ急行〇〇病院に兄君を見舞ひたるが軍醫初め白衣の天使(看護婦)の不眠不休の看護に感泣せりと。

藤澤喜一郎氏戦死

昨年〇月召集され第一線に於て御奮戦なりし山本部隊上等兵藤澤喜一郎氏(紡十一)は四月二十九日北支の戦闘で名譽の戦死を遂げた旨五月四日夜原隊より須



坂町役場宛公電があつた。同氏は母校紡織科第十一回出身、富山縣野野町吳羽紡績野野工場に勤務され家庭は上高井郡須坂町横町に嚴父喜作氏(六二)の他に令姉

弔慰金募集

- 故松尾順策氏(絲廿四)
故手塚達郎氏(絲廿一)
故富田清男氏(絲廿四)
故高木晋氏(絲廿六)
故笠原喜一郎氏(絲十三)
故藤澤喜一郎氏(紡十一)
故松尾順策氏(絲廿四)
故手塚達郎氏(絲廿一)
故富田清男氏(絲廿四)
故高木晋氏(絲廿六)
故笠原喜一郎氏(絲十三)
故藤澤喜一郎氏(紡十一)

岡部彌平氏よりの禮状

謹啓 故母いと儀告別式の際には御弔詞を添へし難有奉深謝候。就ては一々拜趨御禮申上可の處乍略儀以書中御挨拶申述度如斯御座候。

昭和三十二年四月十日 前橋市向町九四 岡部彌平

故稻生得藏氏 御遺族よりの禮状

謹啓 先日は御丁寧にて靈前(過分の御香料を拜受致し)して洵に難有謹んで御厚禮申上げます。早速靈前へ御供へ致しました。故人も定めし御一同様の御友情の厚きを地下に於て感謝致し居る事と存じます。主人生前中は一方向ならぬ御指導を蒙り何等其の御恩に報ゆる事なく他界致せしは實に残念の至りに堪へません。妾の今後の一生は實に「遺児の教育」なる一語に盡るの御座います。尚一層固い又強い信念を以て鈍兒を以て出藍に導き聊かなりとも御恩の御役に立つ人物をとな念願致して居ります次第で御座います。何卒將來共相變らず御指導並に御交誼の程機重にも御願ひ致します。御一同様へ一々御禮状申上げべき儀でありませぬが貴會を通じて御皆々様へ宜敷御傳辱の程御願ひ申上げます。先は取敢ず書中を以て御厚禮申述べます。

昭和三十二年五月五日 稻生糸乃 千曲會御一同様

弔慰金報告

- 故神原敏男氏弔慰金第四回 山浦卓郎
故藤澤喜一郎氏弔慰金第三回 橋本博
故松尾順策氏弔慰金第二回 久保田一徳
故手塚達郎氏弔慰金第一回 石坂虎治郎
右小計金八圓也
右計金九圓也
右計金拾五圓也

編輯室より

△支那事變突發以來母校に於ては既に學生に於て一氏、卒業生に於て三氏が護國の魂となられてあるが又今月三氏が於て藤澤喜一郎氏の戦死、笠原松平氏の戦病死を御報告せざるを得ないのを悲しむ。我等の代表として邦家の爲め華々しく散つて行かれた之等の方々に対しは満腔の感謝を捧げると共に衷心より其の哀悼の意を表する次第である。

投稿規定

- 一、内容は不問、平易なる學術研究、會員消息に關する物は特に歡迎。取捨は當方に一任せられたり。編輯都合に依り全部又は一部を來月廻しとする事がある。
一、原稿は特に豫め申込無き限り返戻致しません。
一、締切は毎月六日限、特に一月號は一日發行とする爲め二十日限とする。
一、原稿は開封し三錢切手(第四種百二十瓦)迄を貼布して送附し通信文があつたら別に葉書等にて通知される必ず原稿紙を使用し明瞭に普通平假名で書き下され。又文句讀點を必ず施して一字分の間隔を置いて下さい。
一、匿名で掲載希望の場合も編輯部丈へは姓名をお明し下さい。然らざる時は遺憾乍ら掲載を見合せの場合があります。
一、圖面や寄せ書は一尺八寸×一尺三寸以内とし必ず白紙に墨書して下さい。
一、原稿紙は御請求次第送附す。普通の原稿紙を使用する場合は一行十八字文書込まれ度。

優良蠶種案内

- 昭和三十四年度春蠶種
×分 離白一號 絲質特優
×分 離白二號 絲量最多
×分 離白三號 絲質特優
×分 離白四號 絲量最多
×分 離白五號 絲質特優
×分 離白六號 絲量最多
×分 離白七號 絲質特優
×分 離白八號 絲量最多
×分 離白九號 絲質特優
×分 離白十號 絲量最多

Table with columns for 寸法 (寸法), 期間 (期間), and 金額 (金額) for subscription rates.